

かほく市図書館 友の会だより

発行日 2019年11月25日

発行者 かほく市図書館友の会

〒929-1173 かほく市遠塚口57-6 かほく市立中央図書館内

第23号



かほく市生涯学習フェスティバル 図書館まつり

第6回 わくわく紙しばいカーニバル

10月26日、10時を過ぎたあたりから、ポツポツとパパやママに手をひかれて、また、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に「おはなしのへや」に子どもたちが集まってきました。

10時半ちょうどに「わくわく紙しばいカーニバル」が始まりました。今回で回を重ねること、6回！

演じ手である紙しばいの会メンバーも、緊張しつつ、笑顔で手あそびからスタートし、プログラムが進んでいきました。

しっとりした場面では、シーンと見入る子どもたち。おもしろい場面では、思わず笑いが…。

演じ手と聞いてくれる子どもも大人も一つになれる、そんなあたたかな時間でした。あっという間の1時間。

紙しばいの会メンバーで作ったしおりをお土産に、満足そうに帰る子どもたちの笑顔が、紙しばいっていいな！と改めて思わせてもらえる瞬間でした。



にっこり勢ぞろい

プログラム

♪～ いもにめがでて～♪

1. このあな、なあに？

♪～ どんぐり どんぐり コーロコロ～♪

2. どんぐりほとん

3. いのししのおんがえし

4. おぼえているよ おおきな木

♪～ 木はのびる～♪

5. きんいろのうま

6. やまんばのにしき

♪～ なっとう なっとう～♪

7. 注文の多い料理店



友の会の歩みパネル展示

「図書館まつり」の機会に“図書館友の会”を多くの市民のみなさんに知っていただきたいと、『友の会の歩み』と題して、友の会の行事写真（説明付き）と友の会だよりを掲示しました。

古本市

10月26日（土）・27日（日）の2日間にわたり、図書館主催の古本市に友の会として協力しました。



友の会で開催した行事をパネルで紹介しました

第8回 図書館見学会 10月10日(木)

空に浮かぶ船のような



「富山射水市 大島絵本館」へ!!

～ 竹内源造記念館、小杉展示館も ～

総勢なんと29名で図書館見学会へ行ってきました。毎年人気の企画です。今年は富山県射水市の大島絵本館に行きました。玄関前では小さく可愛い噴水たちがお出迎えをしてくれ、入る前からワクワクです。入ると絵本がずらり。絵本を読むだけでなく、ワークショップブースには、手作り絵本や仕掛け絵本を作るキットが置いてあり、大人も子どもも楽しく過ごせそうな場所でした。シアターでは絵本DVDの上映、カフェでは作家さんの作品展示など、ゆっくりくつろげる場所になっていました。



すてきな絵本に囲まれて…

この日は、町田尚子さんの絵本原画展が開催されていました。「ざしきわらし」の原画を見て読んで、人間の怖さにゾクゾクし、「なまえのないねこ」で、くすっと笑って、時にほろりとして、最後には、ほっとして…。改めて絵本っていいなあと思いました。また行きたいと思う絵本館でした。

その後、竹内源造記念館では、玄関で出迎える鰻絵(こてえ)「双龍」などを見学。2対の龍は向き合って全長17.5メートル、高さ1メートルの大迫力でした。一枚一枚まで丁寧に表現されたうろこは、精密かつ繊細で迫力ある鰻絵でした。これを飾っていたこの地域の人たちをうらやましく思いました。

見学のあとは、「ユニコネルモンド」でランチ。お腹も膨れて、その2軒隣にあった郵便局を改築した古本屋さんに突撃。おしゃれなお店で、置いてある本はとてもきれいでした。さすが本好きの図書館友の会の会員さんたち！みなさん、次々にお目当ての本を購入していました。

参加者の声

外日角 表 義一さん

令和元年10月10日、群青色の空の下、20数名の会員を乗せたバスは、かほく市立中央図書館前を午前9時に富山県に向かって出発しました。

射水市大島絵本館に到着したときに、「あれー。」と思ったのです。私は数年前に、ここに来ていました。今日で2度目の来館です。館内でユニークな説明のあと、B1階で絵本の上映会がありました。

昼食時、イタリア料理ユニコネルモンド(森永酒店)のパスタ3種類には驚きました。あっという間の食事が終わり、竹内源造記念館の見学です。小杉町は、歴史と文化の造詣が行き届いた所という感じがしました。館長の、左官職人技術の粋である龍の作品の説明、その建物の2階への階段で、青森県へ昨年旅行した斜陽館がふつと頭をよぎりました。

お世話された役員の方々に感謝申し上げます。これからも機会があれば、ぜひ参加したいと思います。お疲れさまでした。



うれしいね、にっこり！

第15回 友の会の集い

「あたりまえが あたりまえじゃない」

8月23日(金)
19:30~21:00

コイノボリ食堂 店主 澤邊 公亮(さわべ こうすけ) 氏

今年も夜に開催しました。いつもと違う会場で、若い講師に若い参加者も見られました。大学卒業後、途上国を中心に50カ国以上を訪れた澤邊氏。現在はネパールカレーの店「コイノボリ食堂」の店主でいらっっしゃいます。お仕着せの旅ではなく、住んでいる人々の暮らしに入り込みながら、「50カ国それぞれの国に、それぞれの国のあたりまえがある」という考えに至ったようです。

当日は、特にネパールの「あたりまえ」について話してくださいました。山がほとんどのネパールでは、奥地に行けば行くほど生き方がシンプルになっていきます。乾燥した牛の糞を水で溶いて壁に塗り、竈で薪を燃やすことで乾いていく。圧力鍋で豆を炊く際、鍋の周りに灰を塗ることで煤がこびりつかない。ゲストが来たときだけ家畜の命を頂く→残さず食べつくす。

一番驚いたのは、山の向こうにある小学校に、500人もの子どもたちが通っているという事実でした。ネパールでは20年働いたら年金が出るので、若い間に都会で働き、お金を貯めて田舎に戻り子どもを育てるといのです。「豊かさ」の捉えが異なるのですね。



現地の人に溶け込む澤邊氏



2F 第一会議室で

澤邊さんは「色々な地域のあたりまえを知ることで、自分の中のあたりまえがあたりまえでなくなる。…自分のあたりまえを崩して、新しいあたりまえをみつけてみよう!」と呼びかけてくださいました。

年齢に関係なくカチカチの頭をほぐして柔軟に考え、新しいあたりまえを取り入れていきたいな…と感じた夜でした。

後日お店でいただいたネパールカレーは、辛さはあるけれども体や心に優しいおいしい料理でした。

ありがとう! 哲学館×JAZZ ライトアップコンサート 9月20日(金)19:00

かほく市教育委員会スポーツ文化課のご厚意により、哲学館×JAZZ ライトアップコンサートのチケットを頂きました。ジャズコンサートは初めてで、ちょっぴり不安を抱えながら哲学館へ向かいました。

1部では、クラリネット・ピアノ・ギター・ベースでジャズの歴史や概要も交えながら。

2部では、パラグアイのハープ「アルパ」という楽器の演奏。華やかな民族衣装で「星めぐりの歌」「夜

空のムコウ」などなじみのある曲も交えながら、夢のような音色を奏でて。

3部では、1部のメンバーにボーカルも加わって、「素敵なあなた」「スターダスト」「Get out under the moon」など懐かしい曲に酔いしれました。最後は「見上げてごらん夜の星を」を演奏に合わせてみんなで歌い、会場が一体となって盛り上がりました。

すてきな時間をありがとうございました。

友の会

談話室

人と本をつなぐ「場所」でありたい

かほく市立中央図書館 濱垣 里恵さん

初めてご挨拶させていただきます。今春より図書館で勤務しております濱垣です。

図書館は「人と本をつなぐ場所」でありたいと思いつながりながら業務に励んでいます。子どもらが本と出会うよろこびを知るお手伝いが出来たなら、大人にもまた、ふと立ち止ったときに図書がその想いに寄り添えたなら…と日々図書館業務に勤しんでいます。

本図書館は去る10月27日に来館者100万人を達成しました。当日は友の会の皆様にもご協力を頂き、達成セレモニーを無事開催することができました。ひとえに皆様の日頃よりのご尽力の賜物と存じます。

ぜひ今後とも引き続きご指導とお力添えのほど宜しくお願いします。

友の会活動予定

● リサイクル本収集

今後ともご寄付をよろしくお願いいたします!

かほく市立中央図書館 階段下のリサイクル本入れで常時受け付けております。



● 応援ボランティア

やってみたいと思う方はボランティアルームまでおこしください。

【開催日時】

■ 第1・3・5週 14:00~15:30

■ 第2・4週 10:00~11:30

12月 3日(火)	12月 17日(火)
1月 7日(火)	1月 21日(火)
2月 4日(火)	2月 18日(火)
3月 3日(火)	3月 17日(火)

11月 26日(火)	
12月 10日(火)	12月 24日(火)
1月 28日(火)	
3月 10日(火)	3月 24日(火)

【作業内容】本の書架整理、購入本の受け入れのお手伝いなどを行っています。

● 古本朝市

【開催日時】2020年2月23日(日)

【会場】かほく市立中央図書館 2階

編集後記

日課としてウォーキングを始めてから2か月、路上に舞い落ちた枯葉をかさかさ踏み鳴らしながら、1日の暮れゆく早さを感じています。沈む夕日は毎回違う顔を見せ、次第に荒々しくなる海模様は、季節の終わりを確かに告げています。

「図書館まつり」開催中の10月27日、かほく市立中央図書館の来館者数が100万人に到達しました。記念品が贈られた100万人目の来館者は、図書館のおはなし会によく参加されている小学生でした。お話を聞くことによって、1人で本を読むときとは違った世界を味わい楽しんでいる様子が目に浮かびます。

本との出会いが人々の未来を明るくすることを考えると、図書館は私たちの想像を超える価値観を与えることでしょう。これからも新しい発見の場として大いに利用していきたいです。(K.T.)

現在の会員数 129名

入会のお申し込みは、中央図書館サービスカウンターにて随時受け付けております。